

～「中島なおきを応援する会」からのお知らせです。～

「中島なおきを応援する会」は私が被後援人の政治団体です。今日まで羽生市内外の多くの方(個人)からご支援をいただいております。

日ごろから、情報公開、知識構築、自己修練を心がけ積極的な活動を続けておりますが、活動に比例して経費がかさむというのが現実です。月額1万2,000円の羽生市議の政務活動費ではその活動を賄うことは到底できません。

また、初めて挑んだ平成19年の選挙以来、現在でも変わることなくお金をかけない選挙を心がけております。スタッフはボランティアでお願いできても、選挙備品の他、特に想いを込めた印刷物の作成と配布には大変な費用がかかるというのが現実です。

皆様からの浄財はそういった活動に有効に遣わせていただいております。



浄財で作らせていただいたレポートは6種類。



選挙カー看板も作らせていただきました。



日頃の活動にはバイクが不可欠です。

	収入
前年からの繰越額(自己資金含)	663,738
H27年の収入額(自己資金含)	752,074
支出	
選挙準備用名刺	15,000
NO.47・NO.53レポート印刷 新聞折り込み	417,059
日本税制改革協議会会費	12,000
パソコン	190,263
印刷機修理	20,520
レポート配布用バイク修理	59,450
選挙カー看板	36,000
連絡所看板張り替え	24,624
合計	774,916
残金	
平成27年12月31日現在	640,896

上表は平成27年の収支です。H27年4月の市議選時にお約束したとおり公開します。

政治資金規正法により毎年、埼玉県選挙管理委員会に収支報告書の提出が義務付けられており、埼玉県選挙管理委員会のHPからご覧いただけます。

便利です！羽生市のメール配信サービス H28年2月末日現在 登録件数 3,896 件

平成23年の大震災以降、防災行政無線が聞こえない！聞きづらい！という声が届きます。そんな多くの方の声をうけ、同年から羽生市は防災行政無線のメール配信サービスを始めました。メール配信は若干のタイムラグはあるものの、天候や風向きに影響を受けることなく確実に必要な情報を得ることが出来ます。

防災行政無線を使つての情報伝達はこれ以上の改善は見込めません。また、難聴地域の全戸への防災ラジオを配布することは莫大な予算が掛かります。

非常に簡単な操作でお手持ちの携帯電話、スマホ、パソコンに放送と同様の内容が届きますので、ぜひご活用ください。 ※ 宛先に t-hanyu@sg-m.jp と入力してから空メールを送信してください。

【中島なおき(直樹)の略歴】

- 昭和47年11月生まれ(43歳) 身長184センチ 体重75キロくらい A型 さそり座
- 埼玉栄高校普通科 日本福祉教育専門学校社会教育学科 日本大学法学部政治経済学科卒業
- 神奈川県内の児童福祉施設勤務を経て、鴻巣市社会福祉協議会職員となる
- 平成19年(34歳)正真正銘「地盤 看板 カバンなし」から羽生市議会議員一般選挙に単身挑み初当選
- 平成23年(38歳)羽生市議会議員一般選挙に2度目の立候補 再選を果たす
- 平成26年(41歳)話題作り最優先の市政運営に異を唱え、羽生市長選挙に立候補するも惜敗
- 選挙後、家族の生活を守るため民間企業に就職。雇用環境の荒廃を目の当たりにする
- 平成27年(42歳)再び市議会議員選挙に立候補。市議選史上最高得票を賜り再選を果たす
- 所属:第2期若手政治家養成塾副代表 NPO法人地方議会制度研究センター副代表理事 青年地方議員の会会員 ■趣味:家庭菜園 読書 写真
- 特技:ギター弾き語り バスケットボール ■家族:保育士の妻 長女 次女



QRコード



発行:羽生市議会議員 中島直樹
議会&活動レポート No.55

〒348-0071 羽生市南羽生 4-17-2

☎070-6488-4588

✉japanist0422@live.jp



※メールでご連絡いただく際は、送受信トラブルを防止するため開封確認付での送付をお願いいたします。

羽生市議会議員 ～羽生を**変える力**になる！～

中島なおき

過去の清算は**未来**への責任

子供に
ツケを
まわさない!

平成28年 春 NO.55



新座市議会議員選挙。若手政治家養成塾同志である平松大祐候補を志木市の河野議長と共に応援です。各所でマイクも握りました。



お正月でなまじった体に鞭を打ち、汗をかきながらポスティング。



3月定例会での市政に対する一般質問。共生社会の実現を目指し、高次脳機能障害の方の現況とその支援について取り上げました。内容は中面に掲載。



羽生さわやかマラソン大会にて。招待選手の埼玉栄高の後輩たちと！駅伝部の神山監督、田村コーチも埼玉栄高OBで私の後輩です。



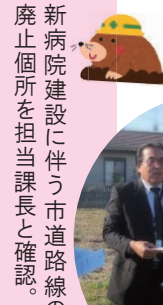
市内の企業視察第2弾。8年ぶりに曙ブレーキ工業を訪問。グローバル企業の社会的責任を痛感。



お正月に妻の実家にご挨拶。1歳2か月の姪っ子ちゃんと戯れる。



地区体育振興会主催のフロアカーリング大会に参戦。小学生チームに惨敗～。



新病院建設に伴う市道路線の認定廃止箇所を担当課長と確認。



西中バスケットと真剣勝負。左45度からのシュート！基本を忠実に！左手はそえるだけ。(笑)

「ゼロからの挑戦日記。」ほとんど毎日更新中！

中島なおき

検索





平成28年度羽生市一般会計予算

歳入・歳出(前年度比 0.7%増)

179億3,000万円

3月定例会報告

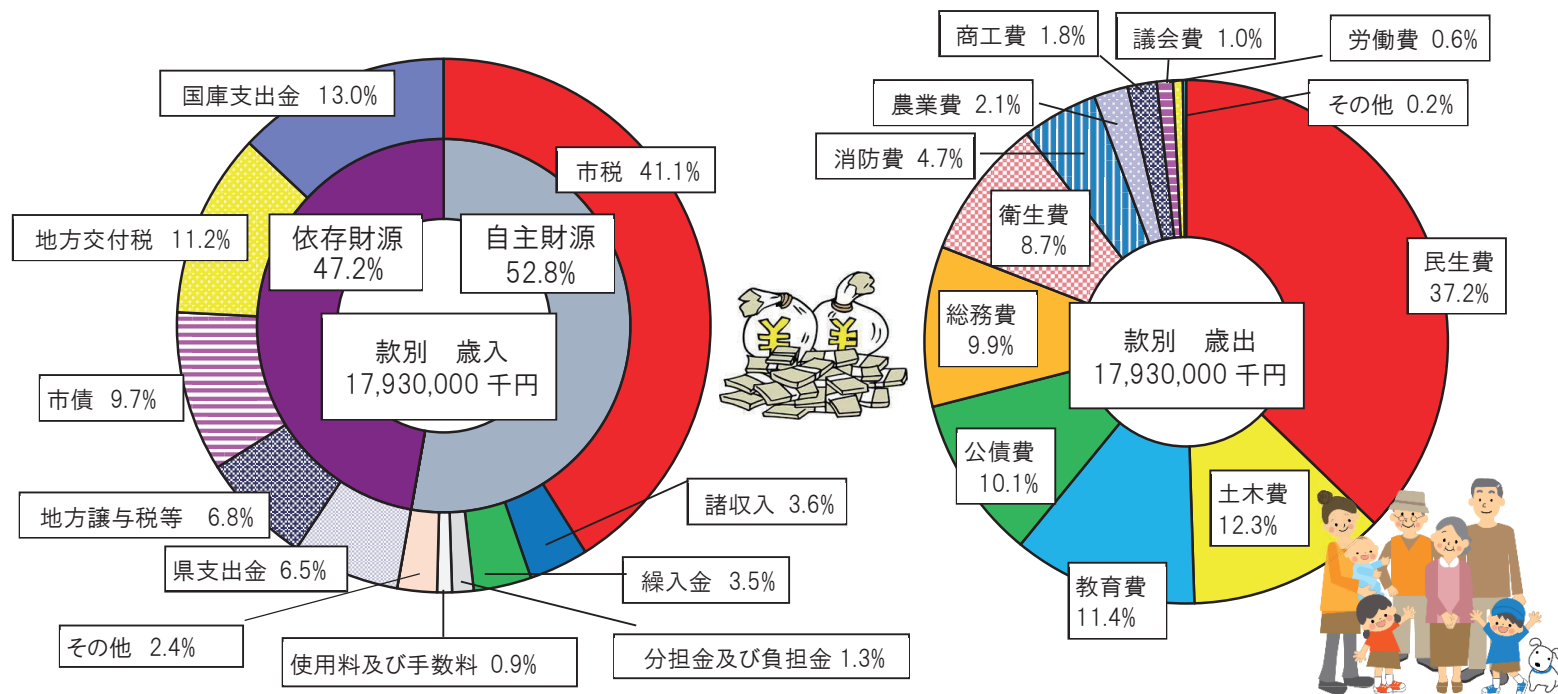
上程議案 34議案

議案質疑通告 8名

一般質問通告

議長を除く13名中12名

一般会計予算歳入・歳出構成比



性質別歳出一覧

- 扶助費 23.0%
- 物件費 19.8%
- 人件費 18.4%
- 繰出し金 11.5%
- 普通建設事業債 11.3%
- 公債費 10.1%
- 補助費 4.5%
- その他 6.0%

2月25日から3月22日までの27日間の日程で平成27年度3月定例会が開かれました。上程議案は34議案。そのうち、最も重要な議案は一般会計と6つの特別会計(国民健康保険、下水道、中小企業従業員退職金等共済、住宅資金貸付事業、介護保険、後期高齢者医療)、水道事業会計の平成28年度予算案です。慎重な審査が行われた結果、賛成全員、および賛成多数でそれぞれ原案のとおり可決、承認、同意されました。

予算のうち、進む少子高齢化、そして広がる福祉サービスニーズを受け民生費の割合が突出しています。また、28年度は市内数か所で大規模な道路工事が行われることから、土木費が前年度比2.3%増加しています。

そんな平成28年度一般会計予算ですが、私中島は2つの大きな理由から反対の意思表示をしました。まず1つは、生まれたばかりの赤ん坊からお年寄りまで無関係ではいられない、建設から30年以上が経過した老朽化著しい羽生市のごみ焼却施設に対応するための基金(貯金)積み増しの予算が計上されていないことに加え、今定例会の議員の質疑に対し、市長自身から基金を否定する発言がなされたことによるものです。もう1つは平成25年度予算案において、複数の議員から厳しく指摘をされ、羽生市が予算の凍結を示唆したはず

の米国ミルブレイ市との国際交流が、実質的に28年度から進められることになったというのがその理由です。

市長が推し進める施策に反対をするのはけしからん！と声高に訴える方がおりますが、そもそも市長の推し進める施策に無条件で全て賛成するだけの議会では、市政のチェック機関として機能しないばかりではなく、存在そのものが不要です。二元代表制である地方議会では結論を導き出すまでのプロセスが特に重要です。私はこれまでと同様、議案に対して、賛成のための賛成。反対のための反対ではなく、万事是々非々の姿勢で臨んでまいります。



30回目の一般質問・市政を問う！+ 議案質疑

議案質疑 議案第1号 平成28年度一般会計予算について7項目の他、議案第11号 新郷第2小学校学童保育室整備工事請負費6500万円について 議案第15号 電算管理事業 情報セキュリティ強化 948万3000円について などなど

障害の有無にかかわらず、個人がその能力を最大限に発揮しながら、安心して生活できる社会の構築、「共生社会の実現」を目指すという視点から質問を行いました。介護保険第2号被保険者とその家族に主眼を置いています。



Q. 高次脳機能障害の現況と支援について 高次脳機能障害は、精神・心理面での障害が中心となるため、外見上はその障害が目立たず、本人自身も家族も障害を十分に認識されていないことがある。

さらに、障害が、医療機関での診察場面や入院生活よりも、職場、学校、買い物、役所や銀行の手続き、交通機関の利用など、社会生活場面で出現しやすく、医療や福祉の現場では見過ごされてきた。この高次脳機能障害は、平成11年に精神保健福祉法が改正され、市町村が精神保健福祉業務の責任主体として位置づけられるようになった。そこで以下のことを伺う。①市内の高次脳機能障害の方の現況 ②具体的な支援状況 ③他機関との連携 ④高次脳機能障害の知識の普及と啓発⑤学齢期における高次脳機能障害の認識



A.市民福祉部長

平成26年度中に羽生市役所に1名、北埼玉障害者生活支援センターに1名、県高次脳機能障害支援センターに2名の相談があった。随時、社会福祉課、健康づくり推進課で相談を受け付けている。羽生市独自の支援は行っていないが、県や高次脳機能障害者の支援団体と連携を図りながら相談、支援体制を整えていきたい。高次脳機能障害に対する理解は、全国的にも十分とは言えない状況であり、羽生市としても、窓口で資料の配置、「地域相談会」開催について広報掲載を行っている。今後、さらにこの障害の理解を深めていただくために周知を図っていきたい。

A.学校教育部長

学校現場では「発達障害」については適切な支援ができるよう教員の学ぶ機会が多く持たれており、支援体制を整えている。今後は「高次脳機能障害」の児童生徒が市内の学校に通うことになる場合に備え、障害の特性を十分に理解したうえで体制を整えていきたい。認知度が低い「高次脳機能障害」について、学校現場での理解を推進するとともに、より適切な啓発や研修のあり方を研究する予定である。

質問、答弁とも要約しています。実際の質問原稿は約2,700字であり、答弁に対し、数回再質問もしています。

～高次脳機能障害とは？～
事故や病気などで脳に損傷を受けた後、記憶力や注意力の低下などの症状が現れ、日常生活や社会生活に支障をきたす障害のこと。

失語症

- ・思うように言葉が出てこない、喋れない
- ・言葉が理解できない

見当識障害

- ・日付や季節が分からない
- ・自分がどこにいるか分からない

病識の欠如

- ・自分が以前とは違うことに気づいていない

失行・失認

- ・人や物など見えているものが何かよく分からない
- ・思うように体が動かない
- ・道具がうまく使えない

意欲・発動性低下

- ・すぐ眠ってしまう、動きや反応が遅い
- ・やる気がわかない

中島が見る市政一押し情報！

●岩瀬土地区画整理事業地内の看板について

南工区約57haのうち9haがH28年からH30年の3か年計画で商業区域として造成工事が始まります。そんなことから右写真の看板がR122沿いと南部幹線道路沿いに立てられています。H28年3月時点では、出店計画についてお知らせできませんが、梅雨入り前に発表予定です。

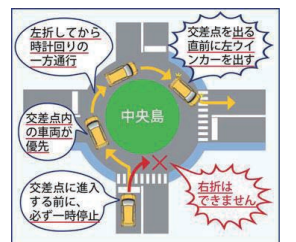


●教育長が変わりました！

小島敏之教育長が任期6か月を残し辞職したことに伴い、前 新郷第一小学校校長の秋本文子氏が新たに教育長に就任しました。

●埼玉県初！新設環状交差点(ラウンドアバウト)

平成28年度中に大字須影地内に環状交差点(ラウンドアバウト)が新設されます。現在、埼玉県には2か所の環状交差点がありますが、新設は羽生市が県内初。工事費予算は8,000万円が計上されています。道路交通法をもう一度確認しましょう！



学童保育



●新郷第2学童保育室を整備！

利用希望者が急増している新郷第2小学校の学童保育室を増床し、定員を20名から40名に増員。現在の学童保育室の隣に同様の施設を建設します。施設完成までは高学年が新2小の体育館を間借りすることになります。(5月下旬開室予定)